

第47回日本薬剤師会学術大会参加報告書

すみれ調剤薬局 沼倉 貴史

2014年10月12日、13日と山形市で開催された第47回日本薬剤師会学術大会にポスター発表で参加してきました。

今回、取り組みを行う上でご協力頂いた関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

今回、私がみずき野店に赴任し初めて禁煙外来に携わり何か薬剤師としてできる事はないかと考え、店舗内で話し合いを行い先行文献検索並びに第45回日本薬剤師会学術大会に参加させて頂き構想を練りました。その中で医薬分業が67%を超えた現在、保険薬局薬剤師の重要な仕事の一つとして服薬アドヒアランスの管理・向上が挙げられます。少し古いデータですが、平成21年度中央社会医療保険協議会の診療報酬改訂結果検証に係る特別調査、ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における禁煙成功率の実態調査報告書において受診回数が多い程禁煙継続率が高いとの報告がありました。平成21年に開局以降当薬局でも各薬剤の処方箋を応需しておりますが、来局を中断する患者さんが少なくありません。この報告を参考に、服薬アドヒアランスを向上させる取り組みを行いました。

各薬剤師の考え方、指導法がある中で現状の問題点を抽出する事やある薬剤師の良い指導法を伸ばし、それを他の薬剤師に波及していく事等、禁煙外来だけに留まらない人財管理の一面や個人の方法・考察だけでなく、各々の考え方を店舗としてまとめあげる店舗運営の一面などここには記載しきれない程の事を勉強させて頂きました。

また、自由討論の場では各方面の先生方とお話をする事ができ、相互に情報を共有させて頂く事ができました。

これらの経験が、今後の業務に通じていく物だと強く感じました。今回の発表に満足する事無く、学術大会で得られた知識や経験を今後の業務に活かし日々精進致します。

以上